

天守築造は1594～97年

松本城

柱の年輪調査で判明

辰巳附櫓も同時期に

松本市は6日、これまで諸説あった国宝松本城天守の築造年代について、「文禄3（1594）年～慶長2（1597）年頃」とする最新の調査結果を明らかにした。柱の年輪から築造年代を算出する科学的な調査に基づき導いた。これまでの市の公式見解では「文禄2～3年頃」だった。大天守の30年ほど後に月見櫓と一緒に増築されたとする辰巳附櫓の建設時期が大天守と同じとみられることも判明した。

（田子元気）

調査は令和4～6年、さんが天守5棟の柱の度、「近世城郭の天守 年輪を調べたところ、群」の世界遺産登録に 大天守に使われていた に向けた推薦書を作成す ヒノキの柱4本が、い るための基礎研究の一 ずれも「1596年」 環。奈良文化財研究所 （文禄5年・慶長元 名譽研究員の光谷拓実 年）に伐採されたとい



乾小天守

渡櫓

大天守

辰巳附櫓

月見櫓

松本城の特徴となつて いる、天守と一体となつ た月見櫓の建築年代も明 らかになった。これまで 寛永11（1634）年の 建築とされていたが、今 回の調査では、さかのぼ った寛永3（1626） 年に伐採されたツガの梁 が創建時の部材として使 われていたことが分かっ た。

月見櫓建築 戸田家時代か

「将軍・家光のため」時期合わず

を迫られそうだ。 松本市教育委員会が発 行する小学生の教材『わ たしたちの松本城』に も、月見櫓について「当 時幕府は大名が城を築い たり直したりすること を禁じていたが、将軍家光 が松本に来るといふ話が あり、直政は幕府から特 別の許しを得て、月見櫓 と辰巳附櫓をつくった」 という解説文がある。 将軍をもてなすために 優雅な雰囲気建物にな っているという月見櫓の エピソードはよく知られ ているだけに、今回判明 した新事実も各方面で議 論を呼ぶ可能性がある。 （田子元気）

松本城天守の築造前後の主な出来事

- 1582(天正10)年 本能寺の変で織田信長が死去。「深志」の地名が「松本」に
- 1590(天正18)年 豊臣秀吉が天下統一。石川数正が松本城主に
- 1592(文禄元)年 朝鮮出兵（文禄の役）。石川数正が病死。康長が継ぐ

1594(文禄3)年～1597(慶長2)年ごろ
松本城天守築造

- 1597(慶長2)年 朝鮮出兵（慶長の役）
- 1598(慶長3)年 豊臣秀吉が死去
- 1600(慶長5)年 関ヶ原の戦い
- 1603(慶長8)年 徳川家康が江戸幕府を開く

松本城天守の築造前後の主な出来事

名古屋工業大学名誉教授の麓和善さんは「当時は木材を乾燥させず、伐採後すぐに1から6階まで短期間に建設されたと考えられる。土台となる石垣の築造に2年ほどかかることから年代を特定した」と述べた。辰巳附櫓は天守から櫓に入る出入り口に壁の跡が確認されないうめ、大天守、乾小天守、渡櫓と同時期に建設されたといわれる。城の様式は、天守完成期の特色を持つ「層塔型」のごく初期の特徴を備え、初代松本城主の石川数正、康長親子が先進的な城づくりを

したことが伺えるといふ。天守の創建年代については諸説あり、平成2（1990）年に「国宝松本城築造年代懇談会」が検討した結果を公式見解としていた。臥雲義尚市長は「科学的な根拠が示されたことは非常に重いものと受け止めている。総合的な検討の上で市の公式見解を切り替えることになるだろう」と述べた。